民生・児童委員

- コミュニティバスがないなど交通の便の問題は大きい。
- ささえあいボランティアができたが、誰が来るのかが分からない。
- 移動スーパーも少なくなり日常の買い物が大変。
- 日原などは限界集落であり、年寄りが年寄りをみる状況にある。
- 豪雪時に孤立する集落がでたが、食料は比較的に蓄えがある。しかし石油等は困る。
- 豪雪時に安否確認に３日かかった例もある。山間集落では長く出かける時などは、自治会長等に連絡をしておく。
- ますます高齢化が進み、若い人も少なくなるので今後が大変。
- 介護保険料も高くなるが、質を落とさないように。
- 施設等は介護報酬も減額となり赤字化で、かつ働く人がいない。
- 介護サービスは商売にならないので民間の参入はなく、社協だけが頼りである。
- 小河内では山のふるさと村で健康体操を実施（２回／月）している。保健推進員が連れて行ってくれ、評判が良い。やはり人と接する機会が必要。
- 小丹波ではお茶のみ会（２回／月）を実施。
- お茶のみ会、カラオケ等があっても男性の参加はほとんどない。
- 一人暮らしの方には、近隣市町村に住む子どもが頻繁にきている。
- 高齢者の家族で、子どもが年金を使ってしまうなどのケースがあり、どのような手立てが必要か。

ボランティア団体

【団体概要】

【奥多摩指圧奉仕会】

- 講習を受けたボランティアが、特別養護老人ホーム（４施設）、デイサービスセンター等に出向き指圧奉仕（1 回／月程度）を実施。35 年間活動をしており現在会員は 38 名。

【栃久保ママさんクラブ】

- 地域において自治会を通し神社等の清掃活動、行事の手伝い等を実施。福祉バザー、ふれあいスポーツ大会等への参加。会員 21 名。元々はスポーツサークルであったが、社会福祉協議会のボランティア団体へ登録し自治会や子ども会、老人会と協力し地区内のボランティア活動を行っている。

【食事サービスかたくりの会】

- デイサービスセンター施設を利用し、配食サービス（配達、容器回収、容器洗い）を実施（週 3 回）。サービス利用者は 60 名程度、会員数は 10 名程度。

【奥多摩将棋愛好会】

- 施設へ出向き入所者との将棋、小学校でのチャレンジ奥多摩のひとつとして将棋を教えるなどを実施。会員は 20 名程度。月 1 回の定例会。

【ボランティア活動の促進等】

- 定年退職後の機会をねらい、ボランティア講座・ボランティア団体の紹介等を行ってはどうか。
- ボランティアの募集として、各ボランティア団体の見学・体験ツアーを実施してみてはどうか。（実際の活動を見るとわかりやすい）
- ボランティアポイント制の話はあったが実現はしていない。
- ボランティア活動は、好きでやっているスタンスでほどほどの活動としている。活動促進を考